

ピシウム属菌による病害や炭疽病の持ち込みが増加しています！

ピシウム属菌



キャベツ 苗立枯病



ミニトマト 根腐病

病原菌	糸状菌 <i>Pythium myriotylum</i> , <i>P. aphanidermatum</i> など複数種ある 高温性と低温性の病原菌が存在するため、年中発病する可能性がある
感染作物	ウリ科・ナス科・アブラナ科の野菜類、キク科の花き類など 多犯性病害
症状	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 主に根に感染し、飴色に根が変色する ▶ 養水分の吸収が妨げられ、地上部の黄化・萎れ・枯死などが発生
多発条件	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 前作の発病圃場 ▶ 土壌・培土の過湿や高ECなどによる根痛み
対策	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 被害部・残渣・隔離培地の圃場外への除去 ▶ 根痛みを予防する栽培管理（過灌水・高ECを避ける） ▶ ユニフォーム粒剤・オラクル顆粒水和剤・タッチアゲン液剤などの散布・灌注処理 ▶ 土壌消毒の実施（土耕栽培） ▶ オクトクロスの利用（水耕栽培・予防策）

※農薬はラベルを確認後ご使用ください。

炭疽病



イチゴ ランナー



キャベツ 苗

病原菌	糸状菌 <i>Colletotrichum</i> 属菌、 <i>Glomerella</i> 属菌
感染作物	イチゴ・メロン・スイカ・キュウリ・トマト など多犯性
症状	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 葉や葉柄、果実の黒変 ▶ クラウン内(横から)の褐変 ▶ 株の萎れ・枯死 など
多発条件	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 25℃前後の高温時 ▶ 過去の発病圃場(土壌・培土中の残渣に菌が生存) ▶ 罹病株が存在する状態での頭上灌水(水跳ねで伝染) など
対策	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 被害株と培土を圃場外へ適切に除去する ▶ 薬剤散布(ゲッター、ファンタジスタ、ジマンダイセン水和など) ▶ 土壌消毒(バスアミド、クロールピクリンなど) ▶ イチゴの親株床は雨よけ栽培を実施し、感染していない親株を使用する

※農薬はラベルを確認後ご使用ください。

気象庁1か月予報

☀️ 気温：高い ☔️
 降水量：平年並み
 日照時間：少ない

WEBでも
 診断室情報を
 チェックできます！

防除チラシも作物別
 毎月更新しています！